

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校3年 教科 など 総合的な学習の時間

PowerPointで子ども達の発表方法を広げる!

使用するアプリケーション等
・ミライシード
(オクリンク)
・Microsoft PowerPoint

単元・題材 高齢者とともに - 昔遊び

本時の目標 調べたことを発表するための表現方法を、話し合う活動を通して考える。
(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・家庭に持ち帰り、写真撮影や作成メモを残しておくことで、学校での活動に入りやすくなる。
- ・オクリンクの活用により、自分の資料を並べ替え、相手に分かりやすい発表になるよう整理することができる。
- ・Microsoft PowerPointでスライドショーを活用することで、アニメーションをつけたり、友達同士で効果的なスライドショーの作成について教え合ったりすることができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 前時までに収集した情報を確認する。
 - グループで調べたことを、前時までのワークシート等で確認する。

2 展開

課題 わかりやすい発表のくふうを考えよう。

- ① どのような方法で発表するか考える。
 - 課題解決の見通しをもつ。
 - ワークシートに載せてある表現方法や、意見として出た表現方法から話し合っで選択する。
- ② 誰にでもわかりやすい発表について、グループで話し合う。
 - 自分たちで調べたことをもとにして、どのように表現したらよいかを話し合う。
 - 話し合った内容から、発表に必要なものをまとめる。
- ③ グループで話し合ったことを発表する。
 - グループごとに話し合った内容を発表し合い、様々な発表方法があることを知る。

3 まとめ

- ① 本時の学習のまとめとふり返りをする。
 - ワークシートにふり返りを記入する。
 - 本時でできたことを確認し、次時に向けての意欲につなげる。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 前時までに収集した情報を確認する。
 - 前時までにWebサイトや本で集めた写真や情報を確認する。
 - Webサイトで集めた写真や資料はオクリンクでまとめておく。
 - 家庭の協力を頂き、保護者や家族が幼いころにしていた遊びを写真に撮影したり、どのような遊びかのインタビューを端末上でまとめたりすることができる。
 - 端末の活用により、情報の収集から個々での作業ができる。

2 展開

課題 わかりやすい発表のくふうを考えよう。

- ① どのような方法で発表するか考える。
 - 課題解決の見通しをもつ。
 - 掲示物で確認した表現方法や、意見として出た表現方法から自分で選択する。
 - 教師の提示から、オクリンクやPowerPointでの発表を選択することもできることを知る。
- ② 誰にでもわかりやすい発表について考え、発表する資料の作成を始める。
 - PowerPoint資料の基本的な操作方法を知る。
 - オクリンクで作成した資料をもとにしてPowerPointでスライドを試作する。
- ③ 全体で、途中経過の共有をする。
 - 個々に考えた方法を発表し合い、よりよい方法を考える。
- ④ 発表資料の作成を続ける。
 - PowerPointで作成することを選択した児童にアニメーションの活用の仕方を指導する。
 - 友達の発表方法のよい所を参考にしてもよいことを伝える。
 - 友達と様々なアニメーションの中から相談したり試したりして目的に合ったものを選択する。

3 まとめ

- ① 本時の学習のまとめとふり返りをする。
 - オクリンクにふり返りを記入して提出する。
 - 全体で共有し、次時に向けての意欲につなげる。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・児童が低学年から活用し慣れているオクリンクで写真や調べた情報を保管しておくことで、発表する資料を作成する際にとっても役立っていた。
- ・ICTを活用した発表『も』できるとして、これまで通りのポスターや新聞での発表を選択することもよいとしたことで、苦手としている児童も前向きに取り組むことができた。